

## 【東青】平内町立小湊小学校

### 内容（1）「冬がいっぱい」冬を感じる言葉を見つける活動

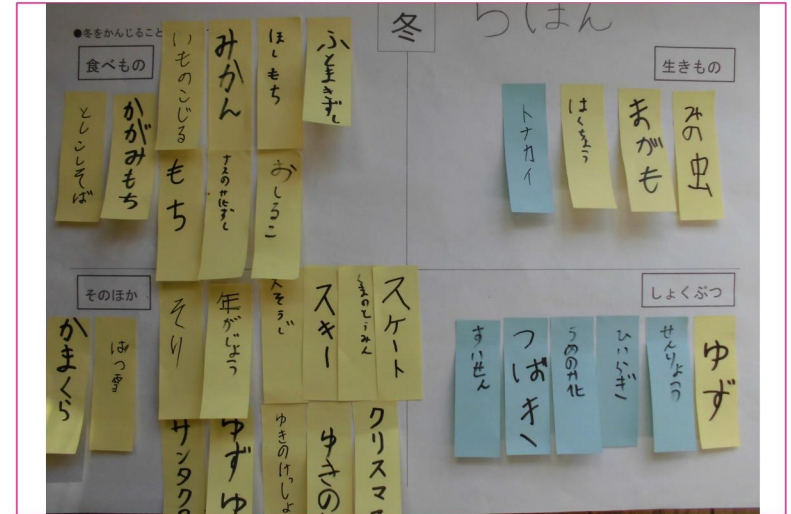
- ・冬の詩を読んだり、音読したりして味わう。
- ・冬に関連する本を参考にしながら、冬を感じる言葉集めをする。
- ・冬を感じた経験をカードに書く。

### 内容（2）「詩の楽しみ方を見つけよう」の学習

- ・教科書の詩を読み、面白いところや自分が好きなところを伝え合う。
- ・表現の中で、例えや言葉のおもしろさや響きなどの工夫を探す。
- ・お気に入りの詩や友達に紹介したい詩を図書館で探す。
- ・紹介したい詩を書き写し、選んだ理由を添えて友達に贈る。

### 成果と課題

- ・学校図書館の本の分け方や並べ方などを再確認することができた。
- ・多くの詩を読んだり、冬の物語や動植物に関する本を読んだりすることで、多様なジャンルの本と出会う機会となった。
- ・学習に役立つ全てのジャンルの図書資料をバランスよく揃えること、発達段階や目的に応じた図書資料の選定が今後の課題である。



〈冬を感じる言葉集め〉



〈図書館から詩の本を探し書き写す〉

# 【西北】 つがる市立柏小学校

## 内容 学級活動(3)ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 「読書に親しもう! いろいろな本を発見」

学校図書館の本は、種別別に排架されていることを知り、様々な種類や内容の本に親しもうとする態度を育てることを目標に、本のラベルの見方と分類を教え、普段手に取らないような本の読み聞かせを行うことで、学校図書館の中には、たくさんの種類の本があることを知り、読んでみたいという意欲を高める。

**つかむ**



**さぐる**



**見つける**



**決める**



事前にとった「読書アンケート」をもとに、学級全体の問題意識を高めた。

本のラベルの見方と分類を教え、「おすしやさんへいらしゃい」の読み聞かせを行った。

自由読書の時間を確保し、友達と読み合いながら、他のグループに伝えたい本のよさを考えた。

「図書ビンゴ」付きのワークシートを活用し、自分のめあてを記入させ、1週間取り組んだ。

## 成果と課題 この授業は、計画訪問で行ったため、指導主事から指導・助言いただいたことをまとめた。

- 2年生の児童たちには難しいのでは?と思ったが、手立てがとても具体的で分かりやすく、生き生きと活動して楽しんでいる様子が見られたのがとてもよかった。
- 本を紹介する時に、特別な支援を要する児童にも発表の機会を与えることで、進んで活動できていた。
- △キャリア教育に生かすことも考え、キャリアパスポートのファイルに挟み、来年度へつなげるようにしてほしい。



0	<p>【新版 くらべる図鑑 (小学館の図鑑NEO 十ぶらす)】</p> <p>【監修】 加藤 由子 小松 義夫 他</p> <p>【小学館】</p>	3	<p>【いやです、だめです、いきません】</p> <p>【著者名】 清永 奈穂</p> <p>【岩崎書店】</p>	3	<p>【どんなしごと? 船員さんのしごと】</p> <p>【構成/文】 WILL こと知育研究所</p> <p>【Gakken】</p>
人間の歯と動物の歯をくらべていた。ブタの歯がきたなかった。		危険なときは、「いやです、だめです、いきません。」と言うことが大切だと分かった。		船員さんがどんな仕事をするのか、1日をどう過ごしているのかが分かる本であった。	
3	<p>【これだけ手話】</p> <p>【著者名】 田中 ひろし</p> <p>【同友館】</p>	9	<p>【一年一組せんせいあのね】</p> <p>【作者名】 鹿島 和夫</p> <p>【理論社】</p>	4	<p>【生きものつかまえたらどうする?】</p> <p>【著者名】 秋山 幸也</p> <p>【偕成社】</p>
手話サークルに通っている子が手話で自己紹介してくれた。		楽しいイラストが描かれていておもしろかった。		虫の捕まえ方や飼いかたがかいてあるので、虫がつかめない人におすすめである。	

## 〈「こんな本あったよ!」で紹介された本〉

「読書に親しもう!いろいろな本を発見」がんばりカード  
11月 27日(金)

めあて  
いろいろなしるいの本に親しみ、楽しく読書できるようにしよう。

こんな本を読んだよ  
いろいろなしるいの本が楽しく読める。

自分のめあて  
ビンゴをクリアするように、いろいろ読んでみる。

図書ビンゴ

3	8	1
④	Free	⑨
6	5	2

「読書の取り組みをよりかえてみましょう。ビンゴをクリアするようにいろいろな本を読んでみる。めあてを達成して、ビンゴをクリアしてさあ、いろいろな本を読んでみる。めあてを達成して、ビンゴをクリアしてさあ、いろいろな本を読んでみる。」

「読書に親しもう!いろいろな本を発見」がんばりカード  
11月 29日(金)

めあて  
いろいろなしるいの本に親しみ、楽しく読書できるようにしよう。

こんな本を読んだよ  
一年一組せんせいあのねの本が楽しく読める。いろいろなしるいの本が楽しく読める。いろいろなしるいの本が楽しく読める。

自分のめあて  
いろいろな本をいろいろ読んでみる。いろいろな本をいろいろ読んでみる。いろいろな本をいろいろ読んでみる。

図書ビンゴ

1	④	3
⑦	Free	⑨
8	0	5

「わたしは、読書の取り組みをよりかえてみましょう。わたしは、読書の取り組みをよりかえてみましょう。わたしは、読書の取り組みをよりかえてみましょう。」

## 〈児童のワークシート〉



## 学校図書館活用取組事例

令和6年度学校図書館担当者研修会

# 【中南】弘前市立石川小学校

### 内容 学校図書館の活用と読書活動の推進の取組

本校は、今年度新校舎が完成し、小中一体型校舎となった。それにより、学校図書館も『メディアセンター』という名称で、小中共有のスペースとして活用している。

#### (1) 展示コーナー

「新着図書」「図書委員によるおすすめ本」「季節や行事の本」など、テーマによりコーナーを設け本を展示することで、選書に迷う児童が気軽に本を手に取り読むようになった。中学生向けの本に挑戦する児童も見られるようになった。

#### (2) 読書通帳

読んだ本を記録していく読書通帳を導入した。30冊分貯まるとしおりのプレゼントがもらえることや読書量が目に見えてわかることが動機付けとなり、読書量の増加につながった。

#### (3) 図書館イベント

図書委員会や学校司書が季節や行事などに関連したイベントを行ったり、図書館クイズやスタンプラリーなどを企画したりすることで、たくさんの児童がメディアセンターへ足を運ぶようになり、楽しみながら本と触れ合うことができた。

#### (4) ブックトーク、読み聞かせ

読書意欲を高めるために全学年でブックトークを行った。また、地域の読み聞かせボランティアによる朝の読書タイムの読み聞かせやALTによる英語の本の読み聞かせなども行った。ブックトークや読み聞かせを実施したことで、読書への興味が広がり、様々な分野の本を読む児童が増えた。

### 成果と課題

- 新しい図書館『メディアセンター』を開設するにあたり、子供たちが毎日行きたくなるようなわくわくする場所、ほっとくつろげる場所にしたいと思い、学校司書と連携して環境整備に取り組んだ。その結果、『メディアセンター』で本を読むことが日課となっているような、本が大好きな児童が増えてきた。
- 今後は、読書活動だけでなく、学習活動のためにも児童が積極的に図書を活用できるよう、情報の探し方、資料の使い方などを支援していきたい。



展示コーナー  
の一例



読書通帳

図書館イベント  
スタンプラリー

# 【上北】十和田市立深持小学校



140周年記念  
キャラクター  
「リンリン」

## 内容 本を通して表現力豊かな児童を目指す

### (1) おすすめの本紹介

全校児童が自分のおすすめの本を30秒程度で紹介する。おすすめする対象学年やお気に入り場面、学校図書館のどこに置いてあるかなどをプレゼンする。紹介した本はカードにまとめ「読書の木」として年間を通して掲示した。

### (2) なかよし読書（リーディングバディ）・出張読み聞かせ

4月に高学年が低学年に向けて、11月に読書推進委員会が全校児童に向けておすすめの本の読み聞かせを行う。縦割りで班をつくり、場所を設定して読み聞かせを行い、振り返りには感想発表や本にまつわるクイズをする。

### (3) 交流した作家さんのコーナー

これまで交流してきた作家の方々（志茂田景樹さん、飯野和好さん、宮西達也さん、きむらゆういちさん、原ゆたかさん、くすのきしげのりさん、高森美由紀さん）の作品コーナーを設置。令和6年度は、ささやすゆきさんと絵本づくり活動を行った。

### (4) 読書ビンゴ（NDCビンゴ、学年のたなビンゴ）

NDC（日本十進分類）に分けられた本や、各学年のたなにある本を選んで読む。読み終わったらビンゴの枠に書かれたNDC番号を塗りつぶしたり、本のタイトルを書いたりしてビンゴ達成を目指す。

## 成果○と課題△

- 児童は自分のおすすめの本を紹介したり、読み聞かせをしたりすることで相手に伝える表現力を高めることができた。
- 児童は作家との交流や読書ビンゴをすることで、多種多様な本に接し、さまざまな表現に出会うことができた。
- △学習に活用できる本（資料）が物語に比べ、充実していない。十和田市立図書館や青森県立図書館と連携して、調べ学習が十分できる冊数を準備する必要がある。

## 内容（1）



〈おすすめの本紹介〉

## 内容（2）



〈なかよし読書〉

## 内容（3）



〈ささやすゆきさんとの  
絵本づくり〉

## 内容（4）



〈読書ビンゴ〉



# 【下北】むつ市立第三田名部小学校

## 内容① 興味を引く環境づくり

### ・クイズコーナー

図書館内の壁面に季節に応じてクイズを掲示している。答えが図書館内にあるようにして、本を探す必然性をもたせた。また、語彙力や言葉への興味関心のための並べ替えクイズなどの掲示も行った。

### ・ことわざ・熟語コーナー

新聞に連続掲載されていた「ことわざ大百科」「熟語大百科」を基にして、ミニ辞典を作成し、図書館内の数カ所に設置した。

## 内容② 図書委員会の活動

### ・読み聞かせ会

月に1回、昼休みに図書委員による読み聞かせ会を行った。特に、低学年に人気で、たくさんの来場者があった。図書委員の提案により、読み聞かせ会に参加した児童に手作りのしおりをプレゼントした。

### ・おすすめ図書紹介

図書委員がお勧めする1冊をお昼の放送で紹介する活動を行い、様々なジャンルの本を紹介した。また、図書館内のどのコーナーにあるのかについても紹介し、探しやすくなるよう工夫した。

## 内容③ 読書週間の活動

### ・しおりのプレゼント

読書週間中に4冊以上借りて読んだ児童に図書委員が作成したしおりをプレゼントした。昨年度も行ったが、児童会総会での要望により、読書週間期間を延長して取り組んだ。

### ・おすすめ図書カードの記録と紹介

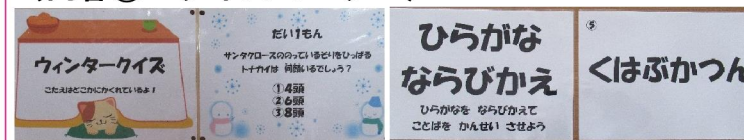
読書週間中に読んだ本の中から1冊選んで、「おすすめ図書カード」に記録した。学級の中から1名ずつを選出し、図書館前に掲示して紹介した。他のカードは、学級ごとに掲示や紹介をした。

## 成果と課題

○本校児童の実態として、読書を好んでする児童が少ないことが挙げられる。朝読書の時間を設けていても、物語や小説などの世界に浸ったり活字から学んだりしていることも少ないと思われる。そのため、多くの児童が図書館に足が向くような図書館の環境づくりを行ってきた。上に示した取組により、明るく開かれた図書館づくりへの効果はあったと思われる。

△インターネット以外でも、本や百科事典などで知識を得たり調べたりできる良さを児童に経験させたい。そのための図書館の役割やはたらきを今後は工夫していきたい。

## 〈内容① クイズコーナー〉



## 〈内容① ことわざ・熟語コーナー〉



## 〈内容② 図書委員会の活動〉



## 〈内容③ 読書週間の活動〉



## 【三八】 八戸市立桔梗野小学校

### 内容

#### (1) 学校司書や図書ボランティアによるブックトークの実施

本校では、毎年全学年にブックトークを実施しており、市から「マイブッククーポン」が配付される時期（6月下旬）に、各学年に合わせた本の読み聞かせや紹介をしている。

#### (2) 図書委員会の児童による「おすすめの本」のポップの作成・掲示

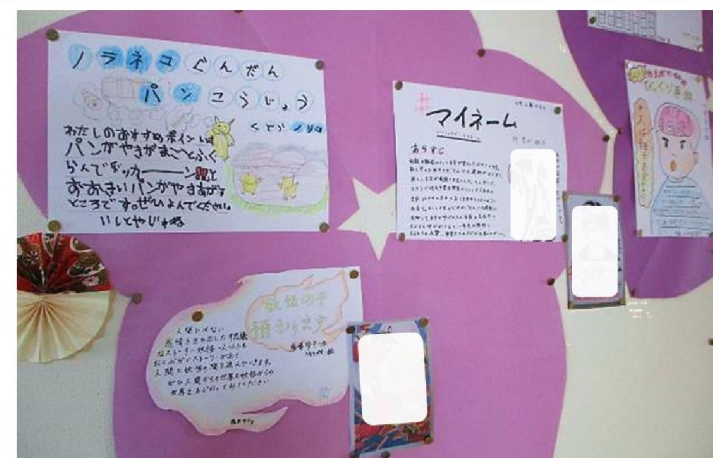
委員会活動の時間にそれぞれのおすすめの本を持ち寄り、ポップを作成した。完成したポップを図書室前に掲示し、全校児童が見ることができるようにした。

### 成果と課題

- どの学年の子どもたちもブックトークや読み聞かせの活動にとっても意欲的で、楽しみに参加している。
- 学校司書だけでなく、保護者にも図書ボランティアとして読み聞かせに参加していただいており、学校と保護者が一緒になって読書活動を推進することができている。
- 図書委員会の企画に合わせて、昼休みに図書室を利用する児童が増えてきている。



〈ブックトークの様子〉



〈図書委員によるポップの作成・掲示〉